

図書館だより 3月号



北島中学校

3月になり、今年度も終わりが近づいてきましたね。来年度に向けて、悔いの残らないように日々過ごしていきましょう！

4月号で、お知らせしていた賞の名前が決定しました。「北島中学校図書館ベストユーザー賞」です。今年度は学校全体でも貸出冊数が大きく増加しました。そこで、4月のお知らせとは、変更になってしまうのですが、今年度、100冊以上貸出があった人を表彰することになりました。現在、5名の生徒が100冊を達成しています。

もちろん多く読むことも素晴らしいことですが、楽しく読むことが何より大事です！図書室には、いろんなジャンルの本があります。ぜひ、好きな本・お気に入りの1冊を探しに来てくださいね。

2月末までの貸出冊数は「2520冊」です。なんと、昨年度の貸出より「679冊」も増加しています。どこまで伸びるか楽しみですね！



新着図書の紹介

わけあって絶滅しました。世界一おもしろい絶滅したいきもの図鑑

今泉忠明 監修

どうして絶滅してしまったのか、絶滅寸前にいるいきものを紹介しています。絶滅する原因は、自然災害だったり、ライバルに敗れたり、人間が原因だったりします。そんなことあるの？と思うようなこともあります。こういった原因を知って、今のいきものの姿形があると思いついてみると、新しい発見があるかもしれませんよ！



目で見ると日本史 岡部敬史 文

昔と今では、文化も生活も違うため、歴史上の出来事は想像しにくく、難しいと感じている人もいます。この本はそんな人にオススメです。歴史上の人物が見たかもしれない景色と一緒に楽しむことで、歴史が身近に感じられます。歴史コラムも載っていて、読んでも楽しい1冊になっていますよ。

ソノリティ はじまりのうた 佐藤いつ子 著

吹奏楽部であるという理由で、合唱コンクールの指揮者を任された主人公「水野早紀」。不安でいっぱいながらも「早紀」はクラスをまとめようと頑張ります。クラスメイトとの関わりの中で成長していきますが、突然のアクシデントが起こります。合唱コンクールはどうなってしまうのでしょうか。



ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 18 廣島玲子 著

今回の「銭天堂」は、過去のお話になります。新商品の開発に行き詰ってしまった「金のまねき猫」たちに女主人の「紅子」が過去に作った駄菓子の目録を見るのはどうか、と問いかけると、賛成する「まねき猫」たち。そして、気になった駄菓子にまつわる話を「紅子」が語ります。

春休み特別貸出のお知らせ

3月13日から3月24日まで春休み特別貸出を行います。

- ・貸出冊数 4冊
- ・返却期限 4月17日～21日を予定しています。

(変更がある場合は始業式に連絡します)



北島中学校で読める新聞について

現在、北島中学校では、朝日中高生新聞、読売中高生新聞の2紙を購読しており、徳島新聞阿波っ子タイムズは、無料配布されています。インターネットの普及とともに、紙媒体の新聞読者が減少し、新聞各社は有料でデジタル配信が普及している現状です。本校で購読している2紙、無料配布されている1紙について、改めて紹介させていただきます。

①朝日新聞中高生新聞(朝日学生新聞社)

毎週日曜日に発行され、図書室前に掲示しています。

②読売中高生新聞(読売新聞東京本社)

毎週金曜日に発行され、図書室前に掲示しています。

③徳島新聞阿波っ子タイムズ(徳島新聞社)

毎週火曜日に発行され、みなさんに配布されています。



R2年度に実施した日本経済新聞を掲示した写真

朝日中高生新聞、読売中高生新聞の2紙は、全国紙に掲載された1週間の内容が凝縮されており、タイムリーな話題も掲載されているのが特徴です。

特に、朝日中高生新聞「シゴトファイル」、読売中高生新聞「シゴトビト」、徳島新聞阿波っ子タイムズ「わたしの仕事」については、仕事調べに多い役に立つ記事です。みなさんが将来に向けて、職業を選択していく上で、有益な記事になっています。参考にしてください。なお、朝日中高生新聞「シゴトファイル」、読売中高生新聞「シゴトビト」は過去の記事を含めて、ファイリングして新聞と同じ場所に掲示してあります。もっと知りたい、読みたい人は、図書室のキャリア教育コーナーに過去2年分の記事をファイリングしたのものもあります。ぜひ、読んでみてください。

徳島新聞阿波っ子タイムズは、ローカルな話題が中心ですが、タイムリーな話題やグローバルな話題もあり、中学生のみなさんにとって、一般紙等の新聞を読むきっかけになると思います。

本と同じように活字に接する大切なツールとして、新聞を有効活用してみてください。

図書室開館時間 放課後～

借りられる本の冊数 3冊

借りる期間 2週間

